学校自己評価報告書

令和７年度（２０２５年度）

令和８年（２０２６年）７月

学校法人電波学園

あいち情報専門学校　高等課程

学校評価委員会

委　員　長	清水　亮（校長）
副委員長	加藤　孝司
委　　員	鈴木　宏明（事務長）
委　　員	中村　伸行
	渡邉　栄二
	藤原　遼太郎

目　次

Ⅰ　学校の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１
Ⅱ　評価の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２
Ⅲ　教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．３
Ⅳ　評価項目の達成及び取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．４
（１）教育理念・目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．４
（２）学校運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．４
（３）教育活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．５
（４）教育成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．６
（５）生徒指導・生徒支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．７
（６）教育環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．７
（７）生徒の受入募集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．８
（８）財務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．８
（９）法令等の遵守・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．９
（10）社会貢献・地域貢献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ.10
Ⅴ　学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果・・・・・Ｐ.10

Ⅰ　学校の現況

（１）学校名

あいち情報専門学校

（２）所在地

〒４４０－０８９１

愛知県豊橋市関屋町１－６

（３）沿革

平成　３年 － 愛知技術短期大学情報専門学校を設立

平成１２年 － 愛知工科大学情報専門学校に改称

平成１６年 － あいち情報専門学校に改称

平成２６年 － あいち情報専門学校 高等課程を開設

（４）学科の構成

総合科	１年生	
	情報コース	２・３年生
	電気コース	２・３年生

（５）生徒数および教職員数（2025 年 5 月 1 日現在）

生徒数

		１年生	２年生		３年生		計
			情報コース	電気コース	情報コース	電気コース	
総合科	男子	117	72	33	66	37	325
	女子	9	6	1	6	0	22
	計	126	78	34	72	37	347

教職員数

校　　長　　清水　亮

教　　諭　　１４名

講　　師　　１２名

臨床心理士　　―　　（必要な時に法人事務局へ依頼）

事務職員　　２名

（６）施設の概要（使用数）

普通教室	・・・	9
パソコン実習室	・・・	2
電気実習室	・・・	1
課題研究室	・・・	1
講　堂	・・・	1
駐輪場	・・・	1
体育館	・・・	1
１階グラウンド	・・・	1

Ⅱ　評価の基本方針

（１）評価の目的

・実践的な職業教育を行う機関として、関係業界等のニーズを踏まえ、理念、目的、目指す人材像等を改めて確認し、質の高い職業教育が提供できる学校運営と専修学校教育の発展を目指すために自己評価を行う。

（２）評価の体制

・学校評価委員会にて評価する。

（３）評価基準

・設定した教育目標や計画に照らし、具体的かつ客観的なデータに基づき評価する。

・アンケートを活用する。

（４）評価の公表

・自己評価の結果の報告書には、目標や達成状態及び取り組みの適切さを簡潔かつ明瞭に記述する。

・生徒、教職員の個人情報保護や安全確保に留意して、報告書に記述するものと非公開とするものとを区別する。

・学校評価の結果は「学校ホームページ」にて公開する。

（５）結果に基づいた学校運営の充実と改善

・学校評価委員会において、分析及び課題の洗い出しを行う。

・次年度に向けた重点目標を設定し、全職員共通認識のもとで、学年、教務、指導、校務の分掌単位で改善に取り組む。

Ⅲ　教育目標

本学園の建学の精神「社会から喜ばれる知識と技術をもち　歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し　英知と勤勉な国民性を高め　科学技術・文化の発展に貢献する」に基づいて、教育を行う。この精神によって、生徒一人ひとりのニーズを満足させると共に、質の高い資格を持った技術者を育成し、たくましい実行力により社会経済の発展に貢献できる産業人を育成する。

以上の理念を具体的に表しているものが、「誓いの言葉」、「学習五訓」、「生活五訓」であり、これを実践している。

「誓いの言葉」
私たちは
父母のお陰で
勉学する機会が与えられているから
その期待にそむかず
一生に二度とこないこの時を
無駄にすることなく
勉学と修養に励み
社会から喜ばれる人間になろう

「学習五訓」
一、学園は勉強の場である
一、学問・技術に情熱をもて
一、能力の自己啓発につとめよ
一、積極的に思索せよ
一、謙虚に学ぶ心をもて

「生活五訓」
一、礼儀を重んじよ
一、規律を守れ
一、心に愛をもて
一、顧みて前進せよ
一、健全な身体を造れ

Ⅳ　評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目標

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
○理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	[4]　3　2　1
○学校における教育の特色は定められているか	[4]　3　2　1
○社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	[4]　3　2　1
○理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	[4]　3　2　1
○各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	[4]　3　2　1

①課題

・理念や育成人材像の教職員および生徒への意識浸透。

・資格取得において、より上級の資格への挑戦が求められる。

・企業からの期待される人材像を基に教育を行う。

②今後の改善方策

・補習担当者のバックアップ態勢の強化。

・ニーズに応える教育の強化（リーダー的存在の育成）。

・礼儀などの基本教育を徹底し、謙虚に学ぶ心の養成を継続する。

③特記事項

・企業訪問を実施するとともに、来校企業とも積極的な交流を継続できた。

（２）学校運営

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
○目的等に沿った運営方針が策定されているか	[4]　3　2　1
○事業計画に沿った運営方針が策定されているか	[4]　3　2　1
○運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	[4]　3　2　1
○人事、給与に関する制度は整備されているか	[4]　3　2　1
○教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	[4]　3　2　1
○業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	[4]　3　2　1

○教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	[3]	2	1
○情報システム化等による業務の効率化が図られているか	[4]	3	2	1

①課題

・教育成果を生徒・保護者・中学校・地域社会へ積極的に共有し、信頼と連携を深めていく。

・綿密で先見性のある事業計画を立案し、実施していく必要がある。

・情報発信体制の強化を図り、学校活動の透明性を高める。

②今後の改善方策

・職員会議等で職員間の意思疎通を図り、一丸となって教育活動の効果や業務の効率を更に高める。

・生徒会発信のインスタグラムを開設し、行事や校内の様子を発信していく。

③特記事項

・業務の効率化を目論み、生成AIの活用法について教員間で情報を共有している。

（３）教育活動

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
○教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	[4] 3 2 1
○教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	[4] 3 2 1
○学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	[4] 3 2 1
○キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 [3] 2 1
○授業評価の実施・評価体制はあるか	[4] 3 2 1
○成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	[4] 3 2 1
○資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	[4] 3 2 1
○人材育成目標に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	[4] 3 2 1
○関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	[4] 3 2 1

○職員の能力開発のための研修等が行われているか	[4]　3　2　1

① 課題

・情報分野における社会のニーズ（AI やセキュリティなど）を鑑みて、常にアップデートされた情報関連の授業を考慮し、カリキュラムの編成を行うことが必要。

②今後の改善方策

・求人企業のニーズ調査から得た情報の精査と活用の継続。

③特記事項

・本校は技能連携校として高等学校卒業資格が与えられ、またさらに、上級学校との連携も充実している。

・教育理念に沿ったカリキュラムを実践している。

（４）教育成果

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
○就職率の向上が図られているか	[4]　3　2　1
○資格取得の向上が図られているか	[4]　3　2　1
○退学率の低減が図られているか	[4]　3　2　1
○卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	[4]　3　2　1
○卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。	4　[3]　2　1

①課題

・資格取得の指導体制充実とその継続的な運用が必要である。

・就職先の選択肢を広げるための新規求人企業を開拓する。

・長期欠席や学習意欲の低下などに対し、教職員が連携した多面的な支援の継続が求められる。

②今後の改善方策

・資格・検定取得指導を含めた３ヶ年学習指導計画の作成と実践の継続。

・効果的な補習体制の確立、家庭とのこまめなコミュニケーション、迅速な家庭訪問、臨床心理士の活用など。

・退学防止に向けての生徒との関わりや保護者との連絡を密にする。

③特記事項

・求人依頼のための企業訪問などにより、就職斡旋を実施。内定率は 100％であった。

・数社の企業に来校いただき、３年生対象に合同企業説明会を実施。生徒の就職に対する意識向上や、求人獲得に繋がった。

・本校が推奨し取り組んでいる主な資格検定は次の通りである。受験に当たっては可能な限り、合格対策補習講座等を実施し指導にあたっている。
危険物取扱者・電気工事士（第１種・第２種）・工事担任者（第２級デジタル通信・総合通信）・ＩＴパスポート・日本漢字能力検定・実用数学技能検定・情報技術検定・情報処理技能検定・フォークリフト特別教育ほか。

（５）生徒指導・生徒支援

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
○基本的生活習慣の確立のために取り組んでいるか	[4]　3　2　1
○進学・就職指導にかかる支援体制は組まれているか	[4]　3　2　1
○生徒・保護者からの相談体制が組まれているか	[4]　3　2　1
○生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	[4]　3　2　1
○生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	[4]　3　2　1
○保護者と適切に連携しているか	[4]　3　2　1
○クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	4　[3]　2　1
○課外活動に対する支援体制は整備されているか	4　[3]　2　1
○卒業生への支援体制はあるか	4　[3]　2　1

①課題
・基本的生活習慣（礼儀・マナー・挨拶・態度・服装・言葉遣い等）の教育重視。
・将来を見据えた目標設定をもとに、安定した学校生活を送れるよう支援する。
②今後の改善方策
・特になし
③特記事項
・学級担任は、生徒が安心して学校生活が送れるよう、楽しくて過ごしやすい学級づくりを行うことで、退学防止に尽力している。保護者との連絡も密にしており、遅刻・欠席の場合のみならず、生徒の小さな変化であっても適宜連絡、相談している。

（６）教育環境

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１

○施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	[4]	3	2	1
○学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	[2]	1
○防災に対する体制は整備されているか	4	[3]	2	1

①課題

・実習教材の整備、施設・設備の有効利用を図る。
・職業教育の充実を図る。
・減災意識を持たせる工夫をする。
・災害時エリアマップ等の確認、日頃の準備及び意識、避難訓練の実施。

②今後の改善方策

・各実習教室の効率的な使用と整備の継続。
・電気コース、情報コースともに設備計画に沿って充実を図る。
・企業の実情を把握するための機会を設け、ハローワークとの連携を更に強める。
・災害時を想定して市役所や消防署など地域と連携した対策を講じる。

③特記事項

・姉妹校連携や実習授業により総合科の魅力を発信し続けている。
・実習機器や教育設備の設備計画が進行している

（７）生徒の受入募集

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１			
○生徒募集活動は、適正に行われているか	[4]	3	2	1
○生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	[4]	3	2	1
○学納金は妥当なものとなっているか	[4]	3	2	1

①課題

・15 歳人口減少に対する入学者確保の方策
・中学生とその保護者への広報活動の更なる工夫。
・体験入学や学校見学の内容充実。

②今後の改善方策

・中学生の興味をリサーチし、体験入学の実習内容を魅力的なものにする。
・ホームページ、学校案内を一層充実させる。

③特記事項

・特になし

（８）財務

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
○中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	[4]　3　2　1
○予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	[4]　3　2　1
○財務について会計監査が適正に行われているか	[4]　3　2　1
○財務情報公開の体制整備はできているか	[4]　3　2　1

①課題

・特になし

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・2026 年度より授業料を値上げする。

（９）法令等の遵守

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、 やや不適切…２、不適切…１
○法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	[4]　3　2　1
○個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	[4]　3　2　1
○自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	[4]　3　2　1
○自己評価結果を公開しているか	[4]　3　2　1

①課題

・特になし

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・法令、専修学校設置基準等の遵守と運営に関しては、学園法人事務局が法令遵守についての総合的な管理にあたっており、適正であり問題ない。

・個人情報を適正に取り扱うために、関係諸法令および文部科学省をはじめ各省庁等のガイドライン等に定められた義務（利用目的による制限、適正な取得、正確性の確保、安全性の確保、透明性の確保等の原則）を誠実に遵守している。

・「個人情報の保護に関する法律」の趣旨を尊重し、個人情報の保護に努めるとともに、法第１８条等に基づき文書「個人情報の取り扱いについて」にて生徒、保護者へ通知している。

（10）社会貢献・地域貢献

評　価　項　目	適切…４、ほぼ適切…３、やや不適切…２、不適切…１
○学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4　[3]　2　1
○生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	[4]　3　2　1
○地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4　3　[2]　1

①課題

・安全性や適切な生徒数と指導教員数をよく検討して、地域に貢献するボランティアを実施に向けた検討を進める。

②今後の改善方法

・生徒会顧問を中心に、生徒や教職員と連携して、ボランティアを実施する。
・施設借用の依頼があれば、積極的に応じる。
・中学校の依頼があった場合、情報関連の講座を実施していく。

③特記事項

・奉仕活動として、校外清掃を行っている。
・要請に応じ、校舎を地域活動に提供した。

Ⅴ　学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教育理念や育成人材像を明示し、法令遵守の下に組織整備および適正な運営を行えたと判断できる結果であった。しかし、「キャリア形成を意識した教育」に改良の余地があることも再認識できた。また、人格形成と実践的職業教育に加え、自信喪失に起因する学力低下や不登校問題に対応していくことも、高等専修学校の役割である。以上の点への対応に向けた具体的な取り組みが、今後の課題である。